



古中だより『坂道』

(校長室だより)

HP 検索キーワード「古殿中 古殿町教育ポータル」
Tel 0247-53-3135 Fax 0247-53-3136

7月19日 発行

古殿町立古殿中学校
校長 相樂正弘

～1学期を振り返って～

今日で68日間の1学期が終了します。生徒達の様子を見てみますと、落ち着いた学習態度で、様々な行事に積極的に参加できていたと思います。

『感動の声』をお寄せいただきました

7月16日(火)に須賀川市にお住まいの方より、学校に心温まる一通のお手紙が届きましたので紹介いたします。(※紙面の関係で、一部省略させていただいています。)



私は須賀川市在住の者です。

去る、7月12日(金)に古殿町公民館にて「故遠藤榮氏の追悼書展」を行い、古殿町教育委員会教育長矢吹様にもご来場いただき開催出来たことをとても嬉しく感じていました。しかし、それ以上に感動を覚えたことがあり、連絡をさせていただきました。午後3時過ぎに、会期時間の終了に伴い公民館にて荷物を搬出していた際に公民館内そして外にいた古殿中学校の生徒の皆さんが私を含めて関係者に「こんにちは」と笑顔で挨拶をしてくれるのです。

私は須賀川市に住んでいますが、このような挨拶を受けたことは今までありません。とても感動でした。「素晴らしい」の一言です。

古殿中学校のホームページを拝見しますと、目指す生徒像として(徳)礼儀正しく思いやる生徒とあります。まさに、それを実行している生徒に感銘を受けました。

私の妻は古殿中学校の卒業生です。妻の話では、以前の古殿中学校にはこのようなことはなかったし、当時を振り返り、自分なら果たして自然にこの挨拶が出来ただろうかと感慨深いものがあつたようです。私と同様、感動を覚えていました。

将来を担う子供たちが学校の教えを素直にそして自然に実践する姿を、町内外に発信していただければと思います。

それにより、今の大人が出来ていないことに気付かされ刺激を受けるばかりか、疑問に感じず毎日行っている挨拶のない殺伐とした世界も変わっていくものと思います。

それが明るい社会作りに繋がり、安心・安全についての不安を感じない町作りになるものと信じます。(敬具)

「明け暮れ登り また下る この坂道に
きざむ夢」古殿中学校の校歌に、この歌詞は

あります。この校歌の歌詞のように、古殿中学校の校門までは急勾配の坂道です。その登下校時、車に向かって向きを変え、深々と頭を垂れ、元気にあいさつする姿が、日常の光景になっています。この坂道は、いつの日にか『あいさつ坂』と呼ばれるようになり、学校では生徒会が中心となり『あいさつの中』ということを経験とし、これまでの先輩から引き継ぎできました。この度、このようなお手紙をいただき、普段の生活の中で生かされていることを知り、本校の生徒を誇りに思った次第です。

～学校祭「玲瓏祭」のテーマが決定～

10月19日(土)に行われる古殿中学校学校祭「玲瓏祭」のテーマが決定しました。「玲瓏祭」は、生徒会本部役員を中心に各生徒が自主・自立の精神をもって企画・運営がなされています。

仲間との絆を深め、思い出に残る学校祭を目指していきましょう。

○テーマ「Times」

～仲間と過ごした時間～

3年1組 森 悠妃さん 作

「Times」というテーマには、次のような思いが込められています。

◇中学校生活の3年間はあっという間に過ぎていきます。部活動でのチームメイトや教室でのクラスメイトと過ごした時間がどんなに大切なかを改めて思いこのテーマを考えました。

～事故のない夏休みを～

7月12日(金)のPTA全体会で説明を行ったように7月20日(土)より、中学生の「登校坂」の使用が禁止となります。そのため、これまで「登校坂」を利用していた生徒の通学手段・経路が変更となるため、7月16日(火)の全校集会において、安全な登下校についての指導を行い、自転車利用の希望生徒にはヘルメットを準備していただきました。(裏面をご覧ください。)

さらに、生徒の防犯対策の一環として、生徒一人一人に「防犯ブザー」を準備していただきましたので、本日、配布をいたしました。

7月20日から8月22日までの34日間の夏休みが間もなくはじまります。

各学年で夏休みの目標を考えたり、学習の計画を立てたりしました。充実した夏休みにすることは勿論のこと、「事故のない夏休み」となるよう気をつけて生活してほしいと思います。



LEDのライト付き